



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 06-6203-1407  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	181,396	1.5	17,435	△12.7	17,408	△12.6	8,697	△20.6
25年3月期第2四半期	178,748	0.4	19,978	35.7	19,925	37.6	10,951	14.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 18,513百万円( 43.1%) 25年3月期第2四半期 12,937百万円( 60.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	21.89	—
25年3月期第2四半期	27.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	634,562	377,430	59.5
25年3月期	607,219	349,248	57.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 377,430百万円 25年3月期 349,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	381,000	9.6	35,000	39.8	34,000	38.7	17,000	69.3	42.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	397,900,154株	25年3月期	397,900,154株
26年3月期2Q	592,003株	25年3月期	590,246株
26年3月期2Q	397,308,773株	25年3月期2Q	397,311,122株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成25年10月31日 (木) に機関投資家・アナリスト向けに、第2四半期決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントや海外その他セグメントでは前年同期に比べ減収となりましたが、北米セグメントにおいては円安の影響等により増収となった結果、1,813億96百万円（前年同期比1.5%増）となりました。費用面では、人件費や減価償却費等が減少しましたが、昨年4月に買収したボストン・バイオメディカル・インク（以下「BBI社」）での開発が進捗したこと等により研究開発費が増加したほか、円安の影響もあり販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、営業利益は174億35百万円（同12.7%減）、経常利益は174億8百万円（同12.6%減）となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却益および条件付取得対価に係る公正価値の変動額を特別利益に計上した一方、仕掛研究開発等の減損損失および組織・業務改革に伴う事業構造改善費用を特別損失に計上したことにより、86億97百万円（同20.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ① 日本

昨年12月に発売した高血圧症治療剤「アイミクス」に加え、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」、非定型抗精神病薬「ロナセン」等が伸長し、長期収載品等の売上減少の影響があったものの営業本部取扱品目全体では売上を拡大しました。その一方で生産受託の一部終了や工業所有権収入の減少があり、売上高は846億73百万円（同4.2%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少に伴い304億75百万円（同9.6%減）となりました。

## ② 北米

短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」の売上が独占販売期間の終了により大きく減少しましたが、非定型抗精神病薬「ラツダ」が引き続き売上を拡大しました。加えて為替レートが円安となったため、売上高は664億53百万円（同11.8%増）となりました。利益面では、円安の影響があったものの、事業構造改善による人件費の削減や一部の特許権の減価償却終了等により販売費・一般管理費が減少したため、セグメント利益は141億72百万円（同73.6%増）となりました。

## ③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の販売が引き続き堅調なうえ、円安の影響もあり、売上高は55億2百万円（同39.3%増）となりましたが、人件費や販売経費の増加および円安の影響により販売費・一般管理費が増加したため、セグメント利益は13億39百万円（同7.0%減）となりました。

## ④ 海外その他

「メロペン」の輸出の減少により、売上高は42億92百万円（同35.5%減）、セグメント利益は15億16百万円（同47.5%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は204億74百万円（同0.9%増）、セグメント利益は14億4百万円（同10.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産については、在外子会社の現金及び預金、受取手形及び売掛金やのれん等無形固定資産が円安の影響もあり大きく増加しました。また、大阪研究所の新化学研究棟に係る有形固定資産が増加しました。この結果、総資産は前期末に比べ273億43百万円増加し、6,345億62百万円となりました。

負債については、売上割引当金の増加がありましたが、未払金や長期借入金等が減少したため、前期末に比べ8億39百万円減少し、2,571億31百万円となりました。

純資産については、為替換算調整勘定が大きく改善したこと等により、前期末に比べ281億82百万円増加し、3,774億30百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は59.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、平成25年5月9日に公表した通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成26年3月期通期連結業績予想の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想（A）	369,000	26,000	25,000	13,000	32円72銭
今回発表予想（B）	381,000	35,000	34,000	17,000	42円79銭
増減額（B－A）	12,000	9,000	9,000	4,000	
増減率（％）	3.3	34.6	36.0	30.8	
（ご参考）前期実績 （平成25年3月期）	347,724	25,043	24,505	10,043	25円28銭

売上高は、北米セグメントの売上が引き続き好調に推移すると見込まれることなどから、平成25年5月9日に公表した前回発表予想を上回る見通しです。また、製品構成の改善等により売上原価は減少する見通しです。

一方、販売費及び一般管理費は、今後、北米セグメントの最注力品であるラツーダのマーケティング強化、研究開発プロジェクトの進捗に伴う費用増や再生・細胞医薬事業などへの投資増が見込まれることから前回発表予想を上回る見通しです。

これらのことから、平成26年3月期通期連結業績予想を、前回発表予想値に対し、売上高は120億円増の3,810億円、営業利益は90億円増の350億円、経常利益は90億円増の340億円、当期純利益は40億円増の170億円にそれぞれ修正いたしました。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,753	27,018
受取手形及び売掛金	97,182	100,718
有価証券	86,463	86,007
商品及び製品	45,357	47,230
仕掛品	3,570	2,378
原材料及び貯蔵品	13,762	12,945
繰延税金資産	30,097	30,986
短期貸付金	34,401	34,769
その他	3,958	5,626
貸倒引当金	△105	△103
流動資産合計	333,438	347,577
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,586	99,845
減価償却累計額及び減損損失累計額	△52,662	△54,102
建物及び構築物 (純額)	39,923	45,743
機械装置及び運搬具	76,740	77,777
減価償却累計額及び減損損失累計額	△67,325	△67,899
機械装置及び運搬具 (純額)	9,414	9,877
土地	10,277	10,319
建設仮勘定	5,799	2,145
その他	28,613	31,167
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,165	△24,773
その他 (純額)	4,447	6,394
有形固定資産合計	69,862	74,480
無形固定資産		
のれん	71,293	79,046
特許権	17,383	9,779
仕掛研究開発	50,664	52,753
その他	6,968	6,733
無形固定資産合計	146,310	148,312
投資その他の資産		
投資有価証券	40,838	41,836
繰延税金資産	7,569	12,814
その他	9,246	9,589
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	57,607	64,192
固定資産合計	273,780	286,985
資産合計	607,219	634,562

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,253	12,130
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	2,115	5,728
賞与引当金	7,610	7,367
返品調整引当金	5,650	7,449
売上割戻引当金	19,153	29,348
未払金	34,771	25,297
その他	21,276	20,252
流動負債合計	124,831	127,574
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	35,000	30,000
繰延税金負債	14,494	15,033
退職給付引当金	11,030	11,059
その他	12,615	13,464
固定負債合計	133,139	129,557
負債合計	257,970	257,131
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	308,556	311,074
自己株式	△651	△653
株主資本合計	346,165	348,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,121	14,419
為替換算調整勘定	△11,038	14,330
その他の包括利益累計額合計	3,082	28,749
純資産合計	349,248	377,430
負債純資産合計	607,219	634,562



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	178,748	181,396
売上原価	50,032	50,451
売上総利益	128,715	130,944
返品調整引当金戻入額	—	14
返品調整引当金繰入額	4	—
差引売上総利益	128,711	130,958
販売費及び一般管理費		
給料	17,698	17,693
賞与引当金繰入額	4,830	5,030
研究開発費	27,800	31,491
その他	58,403	59,307
販売費及び一般管理費合計	108,732	113,523
営業利益	19,978	17,435
営業外収益		
受取利息	164	155
受取配当金	454	466
その他	868	622
営業外収益合計	1,486	1,245
営業外費用		
支払利息	549	510
寄付金	746	521
その他	244	240
営業外費用合計	1,539	1,272
経常利益	19,925	17,408
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,765
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	—	1,062
特別利益合計	—	3,827
特別損失		
減損損失	416	4,611
事業構造改善費用	1,087	1,662
特別損失合計	1,503	6,274
税金等調整前四半期純利益	18,421	14,961
法人税等	7,470	6,263
少数株主損益調整前四半期純利益	10,951	8,697
四半期純利益	10,951	8,697

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,951	8,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△798	25
為替換算調整勘定	2,784	9,789
その他の包括利益合計	1,985	9,815
四半期包括利益	12,937	18,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,937	18,513
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,421	14,961
減価償却費	18,683	11,540
減損損失	416	4,611
のれん償却額	1,854	2,526
退職給付引当金の増減額(△は減少)	64	△384
その他の引当金の増減額(△は減少)	1,439	10,115
受取利息及び受取配当金	△618	△622
支払利息	549	510
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,765
事業構造改善費用	1,087	1,662
売上債権の増減額(△は増加)	7,408	△5,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,195	1,061
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,616	△2,824
未払金の増減額(△は減少)	△7,728	△8,995
その他	△940	1,905
小計	34,828	27,796
利息及び配当金の受取額	777	735
利息の支払額	△524	△512
事業構造改善費用の支払額	△1,183	△3,302
法人税等の支払額	△5,541	△2,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,355	22,266
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,887	△0
定期預金の払戻による収入	—	4,766
有価証券の取得による支出	△28,389	△22,709
有価証券の売却による収入	4	497
有価証券の償還による収入	15,986	24,629
有形固定資産の取得による支出	△2,558	△7,212
有形固定資産の売却による収入	8	25
無形固定資産の取得による支出	△1,010	△2,505
投資有価証券の取得による支出	△758	△2,498
投資有価証券の売却による収入	2	2,800
関係会社株式の取得による支出	—	△2,775
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△23,881	—
その他	△277	△380
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,761	△5,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△5,000	△5,000
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△2
配当金の支払額	△3,576	△3,575
その他	△34	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,611	△8,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	650	4,669
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,366	12,990
現金及び現金同等物の期首残高	92,179	71,434
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△2,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,813	82,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,410	59,454	3,949	6,651	158,465	20,283	178,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79	—	—	—	79	43	123
計	88,490	59,454	3,949	6,651	158,545	20,327	178,872
セグメント利益	33,695	8,163	1,439	2,889	46,188	1,565	47,754

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	46,188
「その他」の区分の利益	1,565
研究開発費(注)	△27,800
セグメント間取引消去	24
四半期連結損益計算書の営業利益	19,978

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、416百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、エレベーション・ファーマシューティカルズ・インク(現サノビオン・レスピラトリー・ディベロップメント・インク)を買収し、完全子会社化したことにより、のれんが3,306百万円増加しております。なお、取得原価の資産配分が完了していないため、発生したのれんは暫定的な金額であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	84,673	66,453	5,502	4,292	160,921	20,474	181,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56	—	—	—	56	40	96
計	84,730	66,453	5,502	4,292	160,978	20,514	181,493
セグメント利益	30,475	14,172	1,339	1,516	47,505	1,404	48,909

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	47,505
「その他」の区分の利益	1,404
研究開発費(注)	△31,491
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	17,435

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した有形固定資産および仕掛研究開発について回収可能性を評価し、それぞれ395百万円および4,216百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、BBI社の買収に関して条件付取得対価の追加支払が発生したことにより、のれんが2,408百万円増加しております。